

(報告)

京都市地区新設高等学校の校名選定についての考え方に対する意見募集の概要について

京都市地区新設高等学校の校名選定についての考え方に対する意見募集の概要について、別紙のとおり報告します。

平成26年2月4日

教育長 小田垣 勉

京都市地区新設高等学校の校名選定についての考え方に対する
意見募集の概要（要旨）

- 1 意見募集期間 平成26年1月10日（金）から1月30日（木）まで
- 2 意見提出件数 57件
- 3 意見募集の趣旨 校名選定の考え方等について、府民から意見を募集
- 4 意見の概要 例示した選定の基本的な考え方のうち、京都フレックス学園構想のコンセプトをイメージできる校名やコンセプトと地名のイメージを合わせた校名に賛同する意見が多数であった。
また、新設高校に期待する意見も多数あった。
- 5 意見の要旨

1 地名や歴史文化など、地域に愛される校名

- 地域住民や保護者の希望を広く聞き入れて決定する形がよい。
- 地域の人々の学校への思いを大切にし、地名や歴史・文化など、地域に愛される校名がよい。
- 京都らしいもの、地名などをイメージできるものがよい。または、そのような漢字を含むものがよい。
- 所在地がすぐわかり、受験生、他校の方、他府県の方にもわかりやすく、覚えてもらいやすいので地名を取り入れた校名がよい。特に「紫明」は全国高校駅伝のコースとして知られる名前であるので、よいのではないか。
- 高校生が、京都の歴史・文化を感じながらしっかりとした自覚とプライドを持って通学することを促す校名として、「紫明高等学校」がよい。
- 「山紫水明」の京都を表す象徴的な文字として、近くに紫明通もあるので、「紫」はよい。
- 全く知らない人にも、どこの府県にあるかは知ってもらった方がよいので名前の冠には「京都」をつけた方がよい。
- 未来に向けた新しい学校でありまた古き良き京都の伝統を兼備した学校であってほしい。既設の高校にはユニークな校名もあるが、もう一度原点に戻りシンプルベストで、京都にふさわしい校名「京都」高等学校がよい。
- 日本の時代名、平安、奈良、慶応、明治等がついた高校はあるが「室町」がついている高校はない。「花の御所」から1キロ以内、大徳寺と相国寺の間という立地からして「室町」という名称を校名に入れてはどうか。室町時代は日本文化の和室や茶道、華道のルーツのある時代であり、上京の中心地にある高校としては、ふさわしいのではないか。
- 地域、地名を考慮したものがよい。
（例 紫明、紫明学館、京都紫明）
- 地域の地名や歴史等よりも「京都」というブランドを大切にしたい。
- 歴史と伝統のある京都のイメージも大切にしたい校名にしてほしい。
- 比較的広い範囲から希望・入学してくることが想定されるので、狭い地域に限った校名の選定については、それほど重視しなくてもよい。地名がメインになると、所在地の地域には愛されるが、他地域の府民、特に中学生にとっては疎外感を感じる可能性がある
- 様々な地域から通う生徒にとってみれば「紫明」、「北大路」という地域密着型の校名はなじみが薄いのではないか。

- 紫明は通りの名前をそのまま使っているだけなので、もう少し工夫が必要。地名のイメージである「紫」については隣接する附属小学校も取り入れている所が多く、「紫風」という学校通信や「紫」というサッカーチーム、ジャージ等も紫色を使用しているので、あまりかぶらない方がよい。(他にも紫翔祭や紫友祭など)
- 「紫」は市立高校の名称にも使われているので、紛らわしいのではないか。
- 「紫」は紫野をイメージするので入れない方がよい。
- 「洛」の字が入った校名が多いので「洛」からは離れるべき。
- 単なる地名では、良さが伝わらないのではないか。

2 コンセプトにふさわしい校名

- 紆余曲折を経たうえで入ってくる生徒も多いと思われるので、あまりものものしい校名はさげ、過去は過去として、心機一転頑張っていこうという気が起こるような校名が望ましい。
- 新しいコンセプト、教育システムの中で「新しい」自分を作って行きたいと願う人が集う学校というイメージ及び「新町通り」に面していることから「新」を入れてはどうか。
- 京都府教育振興プランにおいて「個性や能力を最大限に伸ばす」とあるので向上心あふれる高校ととらえ、校名を向上高校としたいと考えたが他府県で存在するので、前後を入れ替え、上に向かう高校として考えた。
(例 上向高校(じょうこうこうこう)、上向都高校(じょうこうとこうこう)、京上高校(きょうじょうこうこう)、京上都高校(きょうじょうとこうこう))
- 明るい学校、京都の学校、次代を担う若者が集う学校、この3点がイメージできる校名がよい。(例 紫明館高校)
- 人はそれぞれに様々な事情(自分にはどうしようもない社会的、経済的、家庭的等も含め)により社会的自立に向かう途中で、その歩みを止めてしまうことがある。その様な個々の状況に柔軟に対応し再びその歩みをリスタートできる「学校」。自立に向けて熱と希望を与え、困難な状況にある生徒の人生を下支えできる「学校」。そうした『思いが伝わる』校名の検討が必要。
- 不登校の生徒が通うにふさわしい明るい校風が感じられる校名をお願いしたい。
- コンセプトをもとに校名をつけるのであれば、あまり立派な言葉ではなく、聴きざわりが柔らかく、視覚的に明るいイメージの言葉がよい、言葉の志が崇高な言葉よりも、平明で穏やかで、ほっとする校名の方が、イメージに合うのではないか。
- 生徒が自分の意志で伸び伸びと学び、成長してほしいという願いを表している校名として、志悠館高等学校あるいは志悠学園高等学校がよいのではないか。
- 希望を持って学べるように、のびのびとした明るいイメージの名称かまたは、そのような漢字を含むものがよい。具体的には、「雅、都、和、悠」を使う。
- 京都〇〇総合高校など、幅広い分野について学べることも強調した名称でもよい。
- 思いが強ければ強いほど学びの幅が広がるというイメージから「志」という言葉がもっとも合う。
- 校名を一目見て、学校のコンセプトをイメージできるものがよい。
- 地域や歴史、文化を連想させるものがよいとは思いますが、新設高校のコンセプトを重視すべきである。
- コンセプトの根底にある「ゆったり」をイメージできる「悠」という文字を入れ

た「悠学」「悠風」「修悠館」がよりふさわしい。

- 「フレックス」というコンセプトをストレートには表さない抽象的な名前のほうが印象深くてよい。フレックス校というイメージとして「まるやかな」ものであるが、むしろ力強さを感じさせるもの、「チャレンジ」というイメージがよい。
- 「風」の入っているものは、個人的にはあまり好ましくない。

3 文字から受ける視覚的イメージや響きがよい校名

- 漢字を使ってもらいたい。
- 紫明館は漢字がわかりやすく、地名の紫明や、使命感のしめいかんとも同じ韻、志が明るい（明確である）という意味がありよいのではないか。また、館を付けることで新しい公立高校をイメージしてもらえないのではないか。
- ひらがなを使うことで爽やかで、優しい雰囲気が出る。また、カタカナなども候補に挙げてみるべきである。
- カタカナ語では落ち着かない。

4 生徒が書きやすい、読みやすい、親しみやすい校名

- 多くの人に早く馴染んでもらうため、読み易く、発音し易く、ずっと頭に入る名前が望ましい。
- 既設の高校でも漢字が難しく、多くの人を読めない、正しく書けない学校がある。そのため新設高校は平易な漢字を用いて誰でも読める、書ける学校名を意識して考えてほしい。
- 生徒が、親しみやすく誇りを持てるようなものがよい。
- 生徒が進路活動のための履歴書や願書など、さまざまな機会に書いたり話したりすることを前提に、説明しやすく、明解なものがよい。
- ひらがなやカタカナがそぐわないということであれば、比較的画数が少なく、平易な漢字、さらには語呂がよい(発音しやすく、他と間違われにくい)漢字がよい。
- 特色は柔軟性であり、府民や学校周辺の住民の方々へのわかりやすさと新しさを打ち出すには、カタカナを校名に入れるほうがよい。(例「京都紫明フレックス高校」、「フレックス京都修学館」等)。
- 読みやすさ、書きやすさに配慮して親しみやすい校名にするには、ひらがなで表記するのがよい。
- コンセプトである「多様な生徒が落ち着いて過ごせる学校」という点から生徒の視点を大切にして、親しみやすい校名がよい。
- 一般的に読みにくい名前ではない方が親しみやすい。
- 校名例は見た感じはよいが漢字の読みが難しい。誰が見てもパッとわかるものがよい。

5 「〇〇館」など、学校をイメージできる校名

- 時習館、修猷館等名だたる学校名が「舎」ではなく、「館」を使っているので、「館」をつけてはどうか。
- 学舎を表す「館」を付ければ、新設校にふさわしい校名になるのではないか。
- 学園構想のコンセプトにふさわしい漢字であること、そして呼びやすく、学校の

- イメージできる文字であるということから、「悠風館」または「志風館」がよい。
- 「〇〇舎」や「〇〇館」のような校名は、私立高校のように聞こえるのでやめてほしい。府立高校にふさわしい名前がよい。

6 コンセプトと地名のイメージを合わせた校名

- 京都にあることがわかること、馴染みやすく読みやすいこと、様々な経験をした生徒が心機一転頑張っていこうという気持ちになれること、以上の3点を満たす校名がよい。(例 京都若葉高校)
- 京都を意味する「洛」+「自由に飛び回れる鳥の中でも、生まれ変わる鳳凰」のイメージから一字を取って「京都府立洛鳳(らくほう)高等学校」がよい。ただし、五行思想の四神で、鳳凰たる朱雀は南の方角を指すので、しっかりとこない。
- 京都を意味する「洛」+志を大きく高く持つ意味で「志」+学舎を意味する「館」を合わせ京都府立洛志館(らくしかん)高等学校がよい。
- 新入生が、自らの学校に対して誇りを持てること、高校での成長の道筋が端的に示されていること、京都市北部の地域性が反映されていること、この3点を兼ね備えた校名がふさわしい。その視点から考えると、学校をイメージできる校名とコンセプトと地名を合わせた校名の融合したものがふさわしい。
(例 洛悠舎(館)高校)
- コンセプトと地名のイメージを合わせた校名がよい。(例 紫明悠流高等学校)
- 勤労観・職業観の育成や規範意識の醸成についての新たな指導方法や指導体制等を、京都府が全国に発信する府立高校になってほしい。この観点から、いままでの府立高校には見られない、「京都〇〇学園高校」のような「京都」を冠する校名を期待する。また、名称のイメージとしては、しなやかさの中にも力強さ、軸のぶれなさを含んだ漢字を使うよう希望する。
- 革新的な学びのスタイルを提供するという、京都フレックス学園のコンセプトが表れ、かつ京都という伝統ある地名が活かされている「洛紫館」が校名にふさわしい。
- コンセプトやイメージを重視した校名が増えているが、地元の人々に愛着を持っていただくため、土地の環境や風土もイメージされるような校名が望ましい。新しいコンセプトとともに、京都という土地のイメージをも表す校名がよい。
- コンセプトと地名のイメージを合わせもっており、読みやすいので、「洛紫館」がよい。
- 「京都」という地名は、ネームバリューがあるとともに文化的なよい響きを持つということ、「晴心」ということばが、健やかで明るく、聴きざわりがよいことから「京都晴心」がよい。
- 「紫明」という言葉は頼山陽の造語「山紫水明」から来ており、歴史を感じさせる言葉としてよい。「悠」は「悠久」、「悠々」等多くの熟語に使われており、良いイメージの漢字である。その両方を使う校名がよい。
(例 悠紫館、紫悠舎)
- 校名もコンセプトにふさわしく、未来が開けるようなあたたかいイメージがよい。
例「京都〇〇高校」〇〇→コンセプトにふさわしい熟語
- 「新しい教育システムをもつ学校」ということがわかり、「山紫水明」の京都のイメージが伝わり「紫明通」にも使われている「紫」を使った校名が望ましい。

(例 紫風 洛紫館)

- 京都という地名を生かし、かつフレックス学園構想のコンセプトにふさわしい校名がよい。
- 「学風や学びのコンセプトをイメージする名称」がよい。例えば、「悠志館」・「京都志悠館」が考えられる。
- 地域とのつながりは、大切であり、地名や歴史・文化など、地域に愛される校名がいいのではないか。さらに、これからの時代に向けた新しいコンセプトも校名に反映させる方がよい。
- 英は「優れた人」 焔は「かがやく」という意味で、「京都英焔高等学校」がよい。
- 「京都フレックス学園」はすでにある程度浸透していると感じる。「京都総合高校」・「京都ラブ高校」も悪くない。
- 京都フレックス学園構想のコンセプトにふさわしく「京都悠学館」という名前がよい。
- 京都全域より生徒の募集ができるのであれば、建設地等の特定の地域名を使用するよりも京都〇〇高校のように、京都を代表するフリースタイルの学校であるということ強調した名称の方がよい。
- コンセプトと地名を融合させた校名が新しい高校の校名として相応しく、そこで学ぶ生徒たちが誇りに思うことができると考える。
次の校名を候補とする。
1 北大路志風館高等学校 2 北大路洛紫館高等学校 3 北大路爽風高等学校
- フリーなスタイルといったコンセプトと「舎」等の校名をあえて両輪とし、その『帰属感』『所属感』の効果を期待してはどうか。
- 地域への定着と多彩な選択のできる学校であるという理由から「紫名彩風高校」がよい。
- 校名の基本的な考え方としてはコンセプトを大切にして「6」が一番よい。「啓」の字は、子どもたちの才能が啓いていくイメージが持てるので、「京都啓明」がすてきな校名になると考える。

7 その他

- 京ことばを使った校名がよい。例えば、現代語では「将来・未来」、古語では「才気のあらわれ」の意味をもつ「さきら」をつけた「京さきら高校」はどうか。
なお、この校名の場合、校是は「はんなり、ほっこり、まったり」がよい。
- ラテン語系の人間の定義（ホモ=〇〇の定義）を使った校名。この校名の場合、カタカナ表記ではなく、ひらがなや漢字表記としてもおもしろい。（例 サピエンス、ロクエンス（言葉を使う）、ファベル（工作する）、ルーデンス（遊ぶ）、パティエンス（苦悩する）、エコノミクス（経済的・合理的）など。）
- 新設高校の校名は、「京都府立鴨沂高等学校紫野分校」でよい。分校扱いの方が、大幅な定員割れが続いた時に、始末しやすい。荒神口の鴨沂高校は、生徒一人一人の要望・意見は大切にされず、自由服も奪われ、個性も抑え込まれグラウンド獲得までの歴史も軽視され、敷地の状況は「ゆったり」とは逆行させられ、全てこの新設高校の為の犠牲にされてる感じがする。

京都市地区新設高等学校の校名選定の考え方 に対する御意見をお寄せください。

京都府教育委員会では、生徒一人一人を大切に、個性や能力を最大限に伸ばすため、生徒の多様な学習ニーズに柔軟に対応する新しい教育システムとして、「京都フレックス学園構想」を進めています。こうした構想に基づいて、多様なニーズに対応できる柔軟な教育システムをもつ高校を、平成27年4月に京都市地区に開校することとし、現在、その校名を検討しています。

このたび、校名選定の考え方やその校名例に対して、多くの府民のみなさまから御意見や御提案を募集します。お寄せいただいた御意見等につきましては、校名選定の参考とさせていただきます。(個々の御意見等には直接回答いたしかねますので、あらかじめ御了承願います。)

意見募集期間

平成26年1月10日(金)から平成26年1月30日(木)まで
(郵送の場合は、当日消印有効)

意見提出方法

- 郵便、ファックス、電子メールのいずれかの方法で御提出ください。
- 「御意見記入用紙」を添付しておりますので、郵便、ファックスで提出される場合に御活用ください。
- 電話による意見提出は、御遠慮いただきますようお願いいたします。
- 提出された御意見の内容を確認させていただく場合がありますので、差し支えなければ、住所、氏名、電話番号も御記入ください。(※個人情報は、他の目的に利用することは一切ありません。)

意見提出先

京都府教育庁指導部高校教育課

- 郵便 〒602-8570 (住所記載不要)
- ファックス 075-414-5847
- 電子メール koukyou@pref.kyoto.lg.jp

公表している資料

- 京都市地区新設高等学校の校名選定の考え方・校名例

※公表資料については、次のホームページでも御覧いただけます。

・京都府教育委員会 (http://www.kyoto-be.ne.jp/koukyou/cms/?page_id=413)

お問い合わせ先

京都府教育庁指導部高校教育課

電話：075-414-5814 FAX：075-414-5847

E-mail:koukyou@pref.kyoto.lg.jp

京都府教育委員会